

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
平成 29 年度 第 9 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 30 年 3 月 29 日 午後 6:35～午後 7:50  
2.開催場所 東京大学工学部本郷キャンパス 14 号館 3 階 321 セミナー室  
3.理事総数 13 名  
4.出席者数 3 名（書面表決書 4 名）  
出席者（山西哲郎、保原幸夫、池上孝則 敬称略）  
書面表決書（前河洋一、森川貞夫、鈴木良雄、小林均 敬称略）  
5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

第 1 号議案 前回理事会（2 月 15 日開催分）議事録に関する件  
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。

第 2 号議案 議事録署名人の指名について  
議事録署名人として池上孝則氏と保原幸夫氏が選出された。

第 3 号議案 平成 29 年度事業報告書案について  
保原氏より事業報告書案について説明があり、質疑応答を行った。

- ① JSIE マラソン完走教室、JSIE マラソン完走セミナー（企画・運営）  
教室参加者延べ人数は 158 名で、昨年度より 100 名程度減少。  
収入金額；117 千円、支出金額；117 千円で、収益は±0。
- ② 熟年ランニングスクール（企画・運営）  
通期参加を原則としているが、参加者は単発参加も含めて 23 名。  
収入金額；796 千円、支出金額；796 千円で、収益は±0。
- ③ 北海道マラソン教室（企画・運営）  
教室参加者延べ人数は約 400 名。  
収入金額；856 千円、支出金額；829 千円で、収益は+27 千円。
- ④ スポーツ栄養ガイドラインセミナー（企画・運営）  
セミナー参加者数は 98 名。  
収入金額；178 千円、支出金額；100 千円で、収益は+78 千円。
- ⑤ アスリート育成国際交流シンポジウム（企画・運営）  
シンポジウム参加者数は 24 名。  
収入金額；30 千円、支出金額；208 千円で、収益は△178 千円。
- ⑥ 浦安市・美走塾（講師派遣）  
参加者数は約 60 名。  
収入金額；150 千円、支出金額；105 千円で、収益；+45 千円。

- ⑦千葉県民の日、子供ランニング広場（講師派遣）  
参加者数は約 60 名。  
収入金額；70 千円、支出金額；49 千円で、収益；+21 千円。
- ⑧静岡マラソン・ランニングクリニック（講師派遣）  
講師として宇佐美氏を派遣、参加者数は約 100 名。  
収入金額；79 千円、支出金額；50 千円で、収益；+29 千円。
- ⑦静岡マラソン・ゲストラランナー（講師派遣）  
本年度も宇佐美氏がファンランに出場。  
収入金額；108 千円、支出金額；50 千円で、収益；+58 千円。
- ⑨メルボルンマラソン日本事務局（参加者募集、交流イベント実施）  
参加者は 92 名で、昨年より 15 名増。  
収入金額；1,947 千円、支出金額；2,021 千円で、収益；△74 千円。
- ⑩その他、後援事業（支援）  
「第 5 回あだち五色桜マラソン」を支援した。  
協会としての協賛金を出したので、収益は△10 千円。

今後、「活動計算書」を作成し内訳を精査するが、「貸借対照表」および「財産目録」によると本年度の正味財産増減は額は△170 千円となり、期末の正味財産は 35 千円となった。ただし、これには年会費未入金の 40 千円が含まれるので、年会費の納入がない場合には、実質の内部留保は 0 と見込まれる。極めて厳しい財務状況となったので、今後の理事会では対応方法について議論する必要がある。

#### 第 4 号議案

平成 30 年度事業計画について

保原氏より事業計画案の説明があり、質疑応答を行った。

- 「J S I E マラソン完走教室」、「J S I E マラソン完走セミナー」、「熟年ランニングスクール」については、少しリニューアルした形で本年度と同様に実施する。
  - 「北海道マラソン教室」についても本年度と同様に実施する。
  - 「浦安・美走塾」、「千葉県民の日・子供ランニング広場」、「静岡マラソン」等への講師派遣事業は当協会の経営を支えているので、新規の獲得も含め来年度も積極的に取り組んでいきたい。
  - 「2018メルボルンマラソン」については、収支予算上は△280 千円程度の赤字になっているが、これは集客を昨年比 50 名程度としているためであり、さらに 50 名増えれば何とか赤字を免れる。前回、前々回の理事会で本年度は継続することにした案件であり、赤字にならないように知恵を絞って集客活動をする事になった。
  - 「トスカーナキャンプ関連事業」については、山西理事長より、陸連も実業団チームもジャンブローネ氏が直接やりとりできる状況になったので、それぞれ直接やっていただくことにし、協会としての事業計画には盛り込まない旨説明があった。
- なお、3 月には、山西理事長が個人的に 2 名で訪問、ヤマダ電機からは横山コーチと西原選手の 2 名、陸連からは坂口オリンピック強化コーチと上門選手の 2 名が視察・体験で訪問している。

- 「2019アラフラゲームズ」については、当協会が関わっていた2011年当時とは違ってスポーツ庁が設立されたので、正式にはスポーツ庁に案内が来るはずであるとの説明が山西理事長からあった。当協会がどのように取り組むべきかはスポーツ庁や日本体育協会に問い合わせた後に決定することになった。山西理事長がそれぞれに問い合わせることになった。
- 「中国マラソン大会の支援事業」については、保原氏より、中国の大会運営会社から協力の可能性についての問い合わせがあった旨説明があった。詳細は4月5日の打合せで確認するが、収益源になりうる可能性があるのではないかと考えている。
- 「第6回あだち五色桜マラソン」は引き続き支援する。

第5号議案 協会運営について  
 人材確保と運営資金の確保が当協会の2大課題であるが、今回は理事会出席者が少ないので、次回以降で討議することにした。


第6号議案 その他  
 ■次回理事会および年次総会について  
 次回理事会および年次総会を6月7日(木)の18時30分から東京大学工学部14号館で開催することになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後7時50分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成30年3月29日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 山西 松彦 

議事録署名人 池上 亨 則 

議事録署名人 保原 幸夫 